

東日本ユニオン TOKYO

JR東日本労働組合東京地方本部

発行責任者 郷 重雄



発行 教宣部

2018年 7月25日 NO.67

JR 東日本労働組合第6回定期大会開催

JR 労働者が働きやすい職場づくりと 社会の一翼を担う労働運動を作ろう！

7月14日、JR東日本労働組合第6回定期大会が、東京都荒川区のホテルラングウッドで開催されました。大会には代議員・傍聴者を合わせて230名が結集し、一年間の運動の総括と、職場から要求をつくりだし「東日本ユニオンに結集させた力で要求を実現させていく」とした運動方針を満場一致で確立しました。

今こそ労働組合の存在意義を示そう！

現在、3万人にも及ぶ組合未加入者が存在する中で、組合不要論まで語られています。今こそ労働組合の必要性を職場からの実践で示し、東日本ユニオンへの加入を通じて、JR労働運動の大同団結・一元化を目指さなければなりません。そのためのこの間の実践と決意が各代議員から述べられました。

東京地本 第6回定期大会

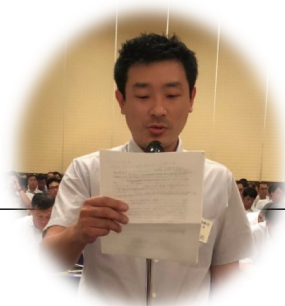
日時 9月22日(土)11時開会

場所 田町交通ビル

※今年から総会制となるため全組合員が代議員です。組合員の皆さんの参加をお願いします。

東京からは室岡代議員が発言。

東京地本からは室岡代議員が発言に立ち、この一年間の取り組みの成果と教訓、そして力強い決意が述べられました。



発言要旨

2月末以降、自分の職場でも多くの方が未加入となった。

脱退した人に加入を呼びかけたが、聞く耳を持ってもらえなかった。これまで様々働きかけてきたが相手に通じていなかった。

初めて分会を担当し職場に入った。不安だったが、顔も名前の知らない自分を気持ちよく受け入れてくれた。さらに分会集会を作り出し、駅委託の要求を上げることができた。

東京地本でも先輩の働きかけで、2名の方に加入してもらえた。これからも組織の強化拡大に向け取り組んでいく。